



現新ガバナー補佐、地区委員長合同引継ぎ会議を終えて

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度 地区代表幹事

河口 義憲

(札幌西RC)

石丸ガバナー年度も終わりに近づき、6月25日に現新ガバナー補佐、地区委員会委員長合同引継ぎ会議が札幌グランドホテルにて行われました。午前から午後と長丁場でした。午前中はガバナー補佐の引継ぎ会議で、各新ガバナー補佐の紹介から始まり、続いて12グループの現ガバナー補佐からこの1年間の活動報告があり、また各新ガバナー補佐からも、新年度からの活動計画の発表がなされました。1年間の活動経験、計画を3分以内で発表するのはいささか足りませんでした。各ガバナー補佐の熱い思いは伝わってきました。

石丸ガバナー年度は、ガバナーの意向で、地区大会も含め若者にウエイトを置いた内容が多くなっていました。可能な限り地区運営のデジタル化を試み、またガバナー補佐の皆さんには、かなり踏み込んだ地区クラブとの連携をしてもらい、そのためガバナー補佐会議が9回という回数におよびました。WEB開催の時もありましたが、リアル会議では、コロナ感染のなか参加された皆さんはたいへんだったと思います。また研修を引っ張っていただいた嵯峨地区研修リーダー（PG）、はじめPG研修委員のかたがたも大変な御苦労であったと推察いたします。ひと使いの荒いガバナーとの声も後でもれていましたが（笑）、しかしそのおかげで、年度開始頃には、ガバナー補佐の皆さんはかなりの知識で固められ、1年を通して西北海道69のクラブに、いろいろな形で還元されていった事と思います。この引継ぎ会議の中で、ガバナー補佐会議の多さには驚いたという感想と同時に、基礎知識の整理、再確認等、多方面でも役立ったと言う意見を多く聞かれました。でも当事者としては、時間のやりくりも大変だったと思います。新ガバナー補佐からの新年度の計画案も提出され、すでに順調に進んでいるようでした。

午後の各委員会委員長の引継ぎは、石丸ガバナー、松浦ガバナーエレクト、出村ガバナーノミニ、玉井ガバナーノミニ・デジグネートをはじめ、嵯峨地区研修リーダー、各PGの現新各委員長と現新ガバナー補佐と、総勢50人を超える委員会委員長が出席しました。委員長は再任の方が多い中、8名の新規の委員長が誕生しました。これに現新の地区幹事が加わり70名を超える出席者のなか、各役員の報告と計画の発表で150分の時間はあっという間に過ぎました。その後は懇親会となり、お互い1年の労とこれからの希望を語り合いました。別の日にも、歴代代表幹事会が開催され、これは小樽RCの杉江代表幹事が、ガバナーサポートのための地区代表幹事間のネットワークが必要と、10年以上前から開かれたもので、今後も水面下で、地区のため力を発揮することと思われまます。

さあ、2023-2024年度です！石丸ガバナーお疲れ様でした。松浦新ガバナーファイト！！

